



総合接着・樹脂加工

ポパール興業株式会社

私たちはソリューション・ビジネスを推進します

東証スタンダード・名証メイン | 4247

2024年3月期

通期決算説明

補足資料

2024年5月27日

目次



総合接着・樹脂加工
ポパール興業株式会社
私たちはソリューション・ビジネスを推進します

①

決算概要

②

新中期経営計画



① 決算概要

- 1 2024年3月期通期決算概要
- 2 業績推移
- 3 トピックス

1. 2024年3月期通期決算概要<連結>

単位:百万円

	2022年 3月期	2023年 3月期	2024年3月期			
	通期	通期	通期			
			2024年3月期 実績	当初予想 (5/12発表)	対前期	対予想
売上高	3,475	3,566	3,589	3,624	0.7	▲0.9
営業利益 (営業利益率)	370 (10.7%)	368 (10.3%)	317 (8.9%)	381 (10.5%)	▲13.7	▲16.6
経常利益 (経常利益率)	380 (11.0%)	383 (10.7%)	345 (9.6%)	410 (11.3%)	▲9.8	▲15.8
親会社株主に帰属する 当期純利益 (当期純利益率)	279 (8.1%)	256 (7.2%)	185 (5.2%)	238 (6.6%)	▲27.5	▲22.3

単位:円

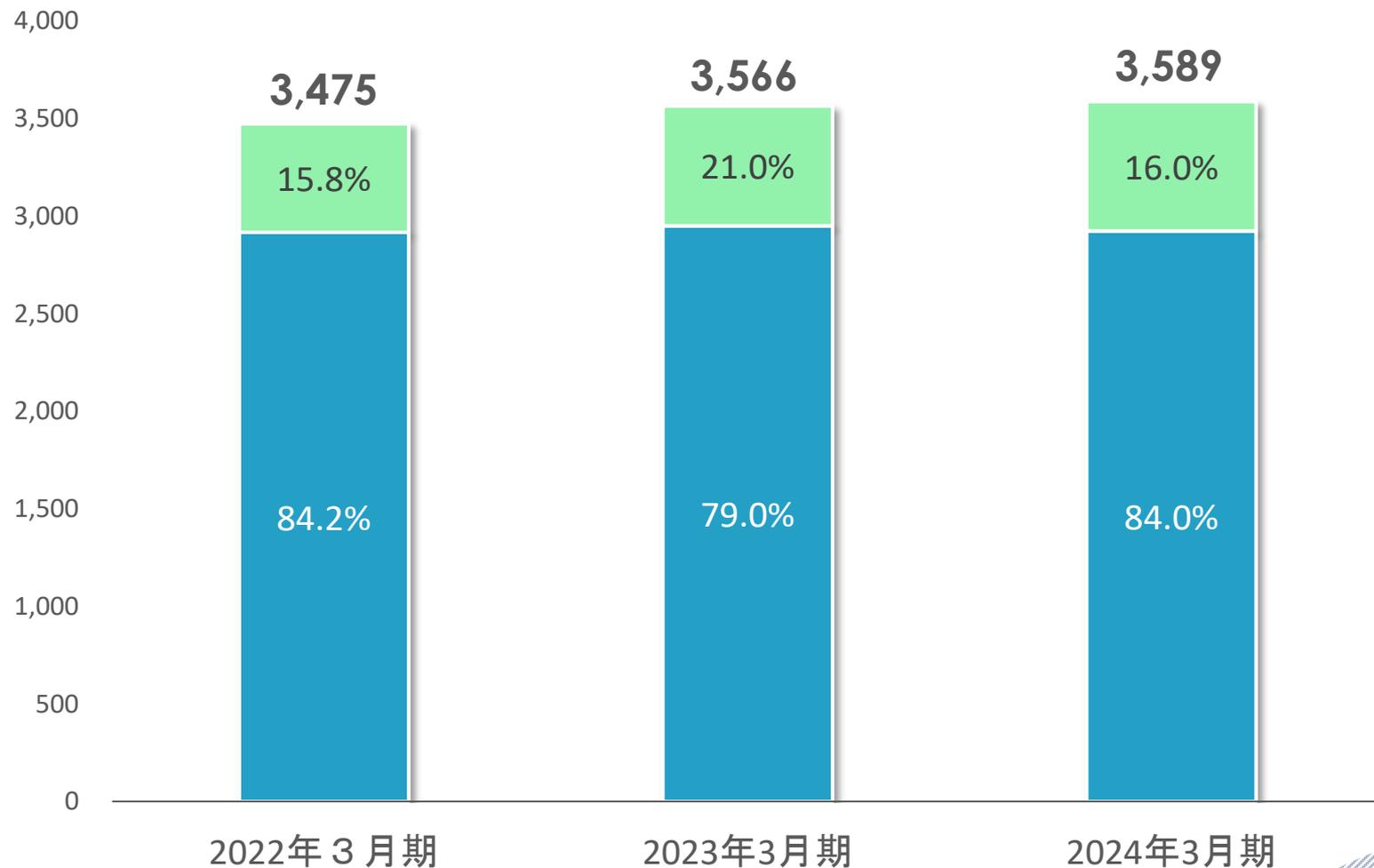
一株あたり配当	35.0	36.0	37.0	37.0	+1.0	-
配当性向(%)	33.0	37.0	52.5	-	-	-

1. 2024年3月期通期決算概要<売上高>

(百万円)

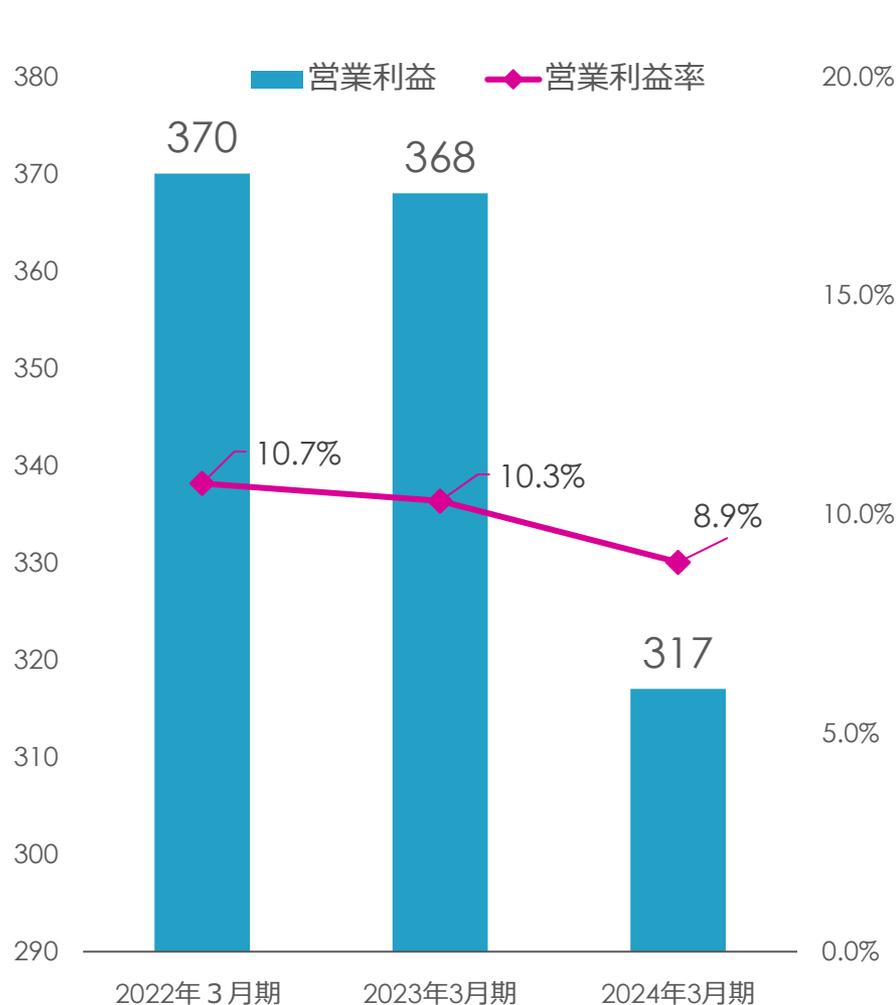
■ 売上一特殊設計機械

■ 売上一総合接着樹脂加工

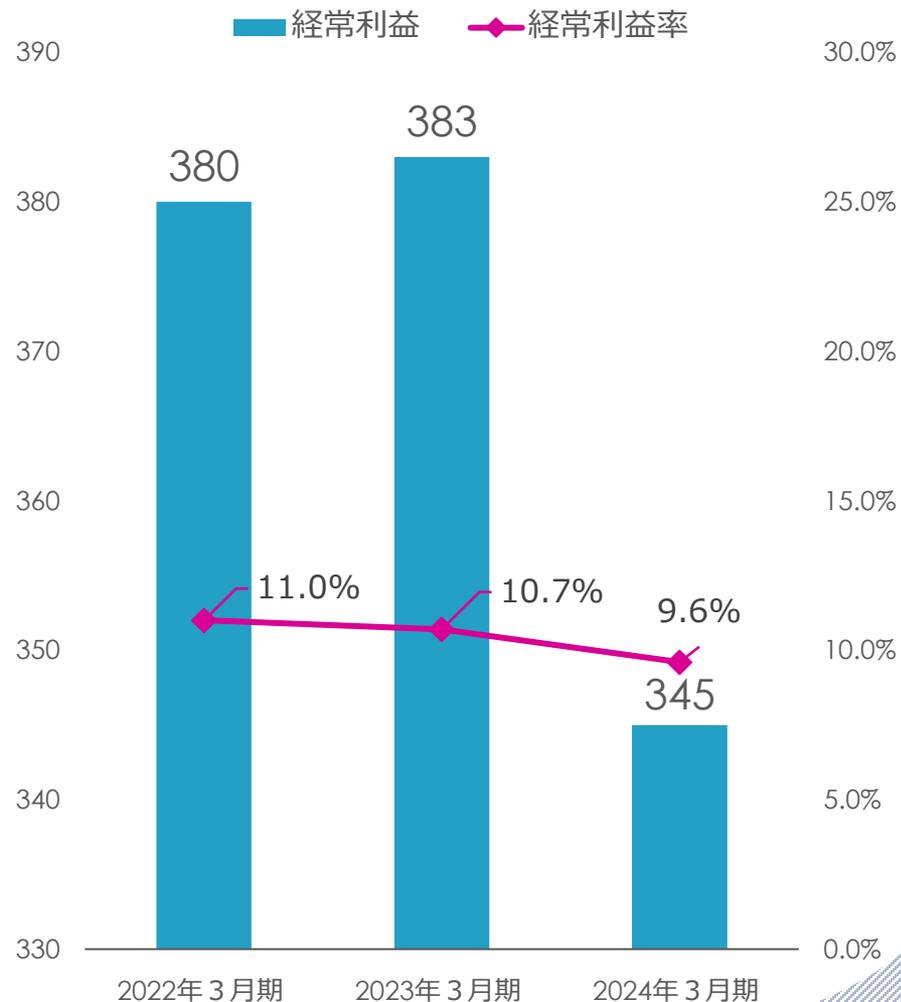


1. 2024年3月期通期決算概要<営業利益・経常利益>

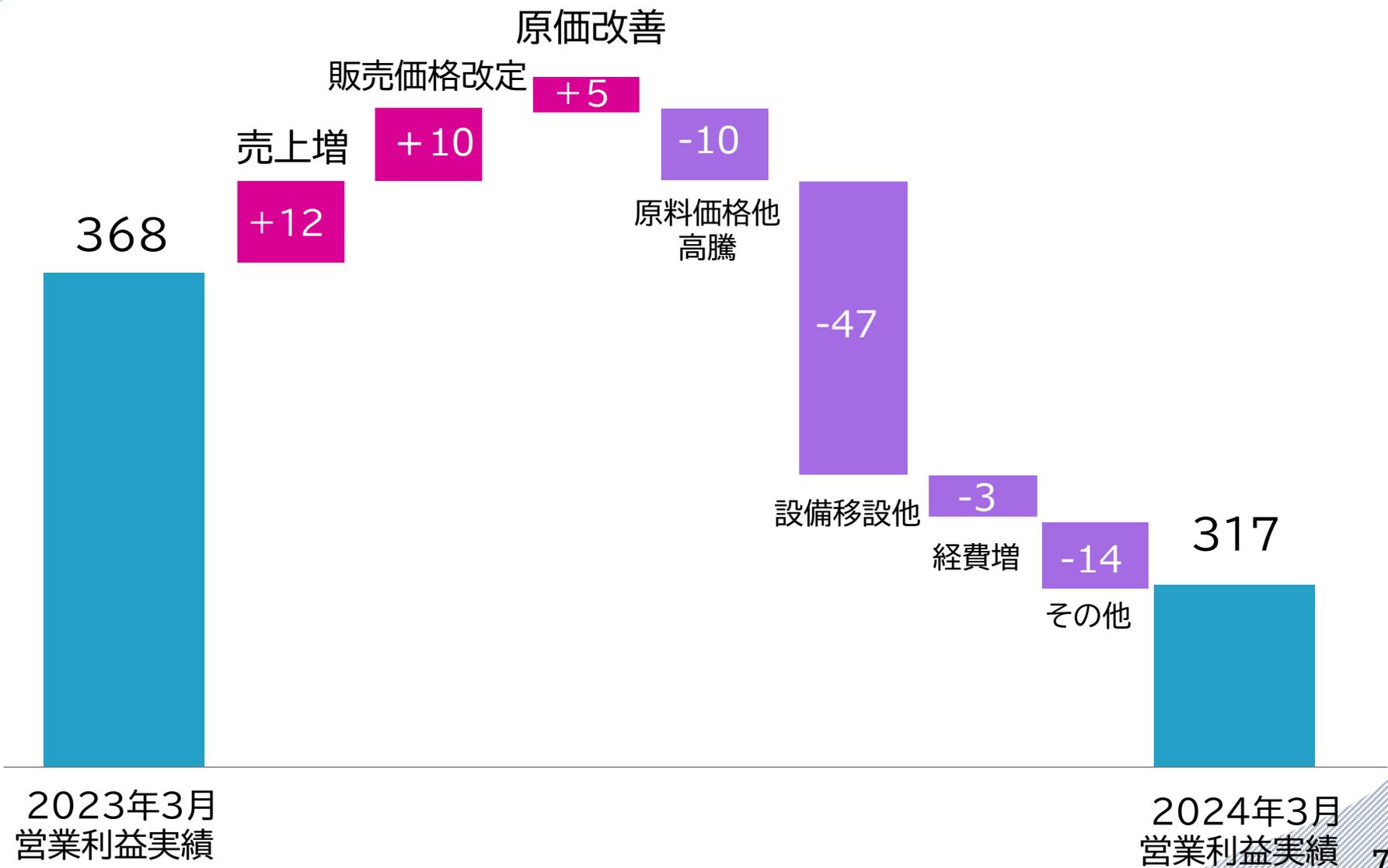
営業利益(百万円)



経常利益(百万円)



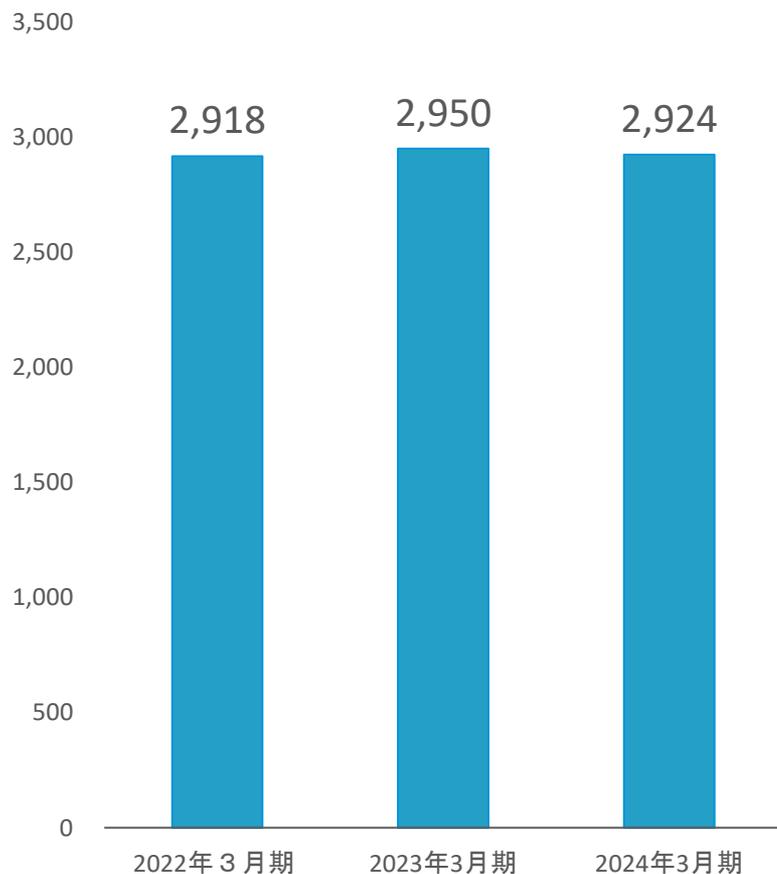
1. 2024年3月期通期決算概要〈営業利益・増減分析〉



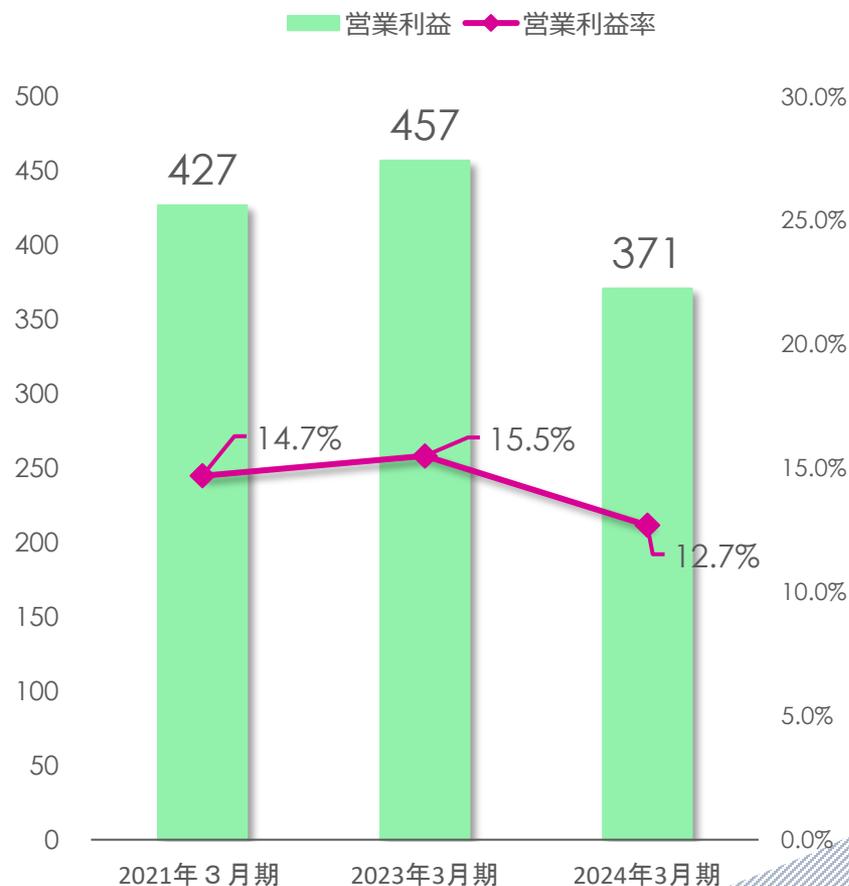
1. 2024年3月期通期決算概要 〈セグメント：総合接着樹脂加工〉

➤ **ベルト関連製品は自動車・鉄鋼業界を中心に底硬く推移**

売上高 (百万円)

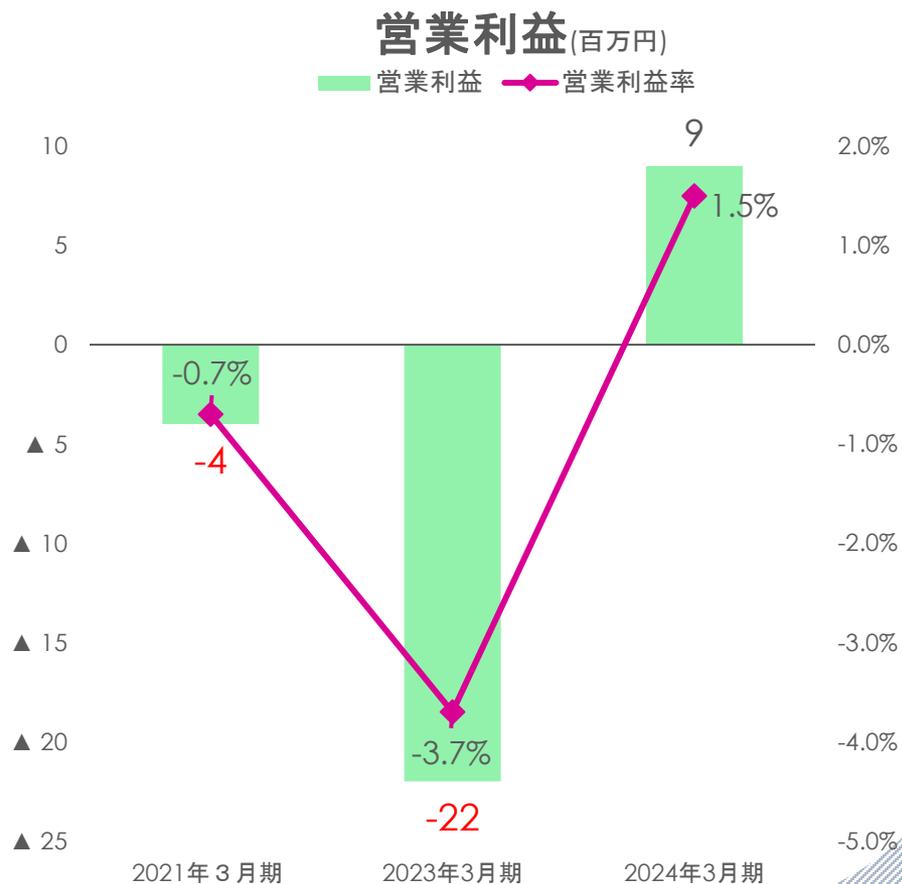
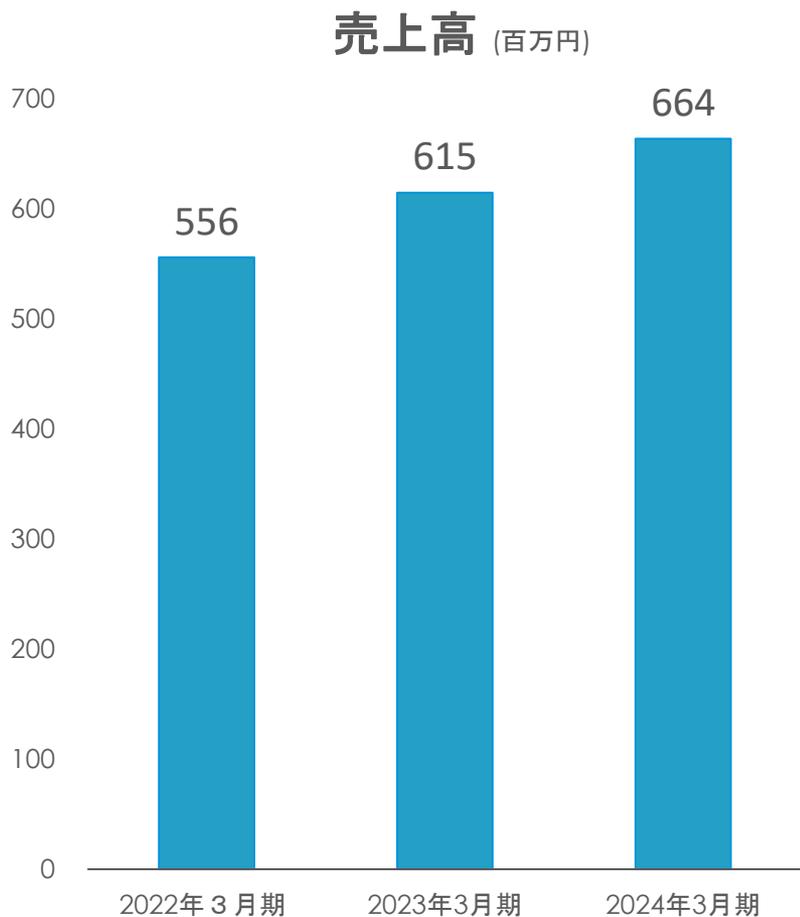


営業利益 (百万円)

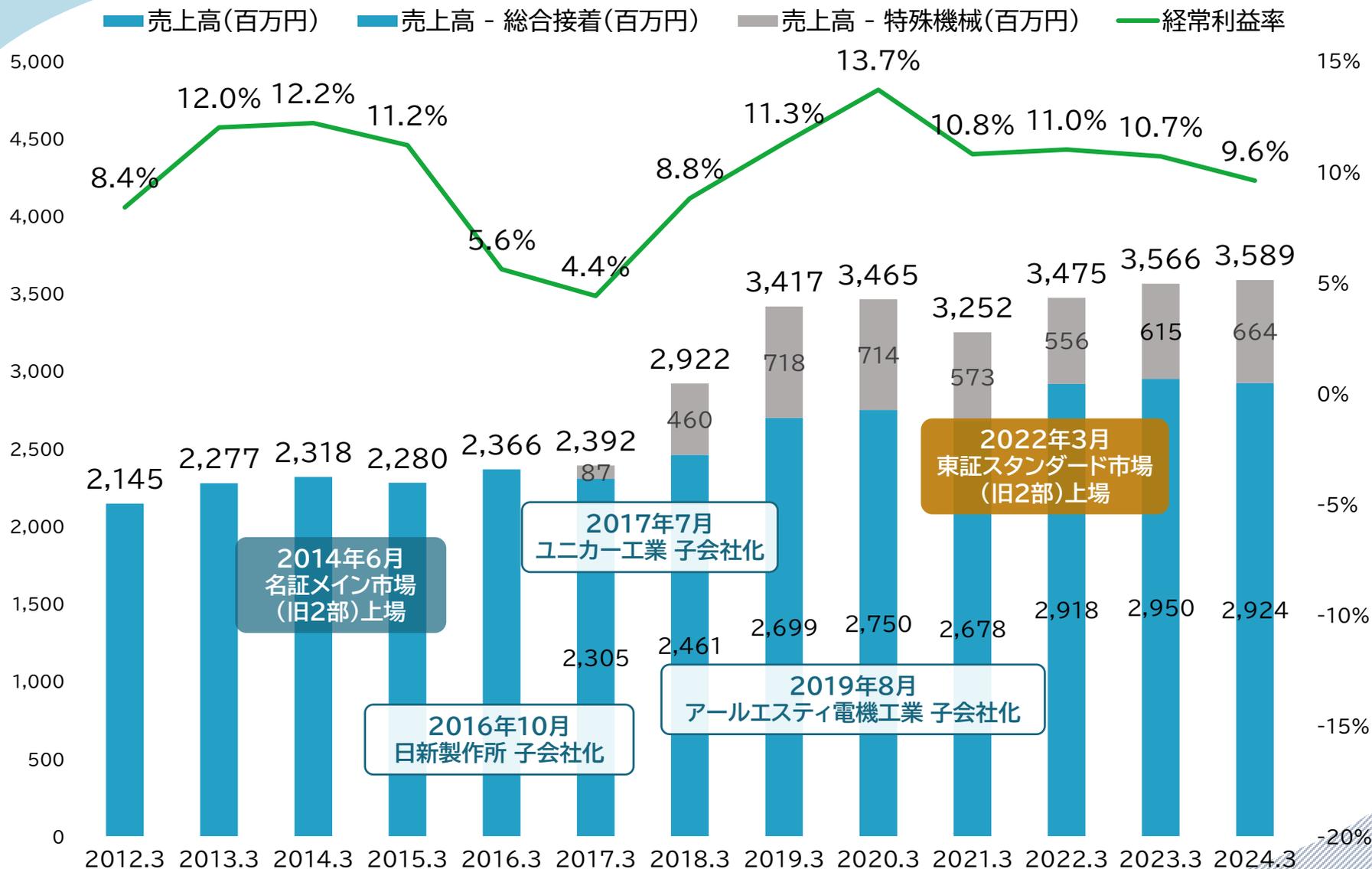


1. 2024年3月期通期決算概要〈セグメント:特殊設計機械〉

➤ 食品工場向けの需要が回復傾向で推移



2. 業績推移



3. トピックス

「健康経営優良法人 2024(中小規模法人部門)」認定

2024年3月11日、経済産業省及び日本健康会議が実施する健康経営優良法人認定制度により、優良な健康経営を実施している企業として「健康経営優良法人 2024(中小規模法人部門)」に認定されました。当社が健康経営優良法人に認定されるのは初めてとなります。



2024

健康経営優良法人

Health and productivity

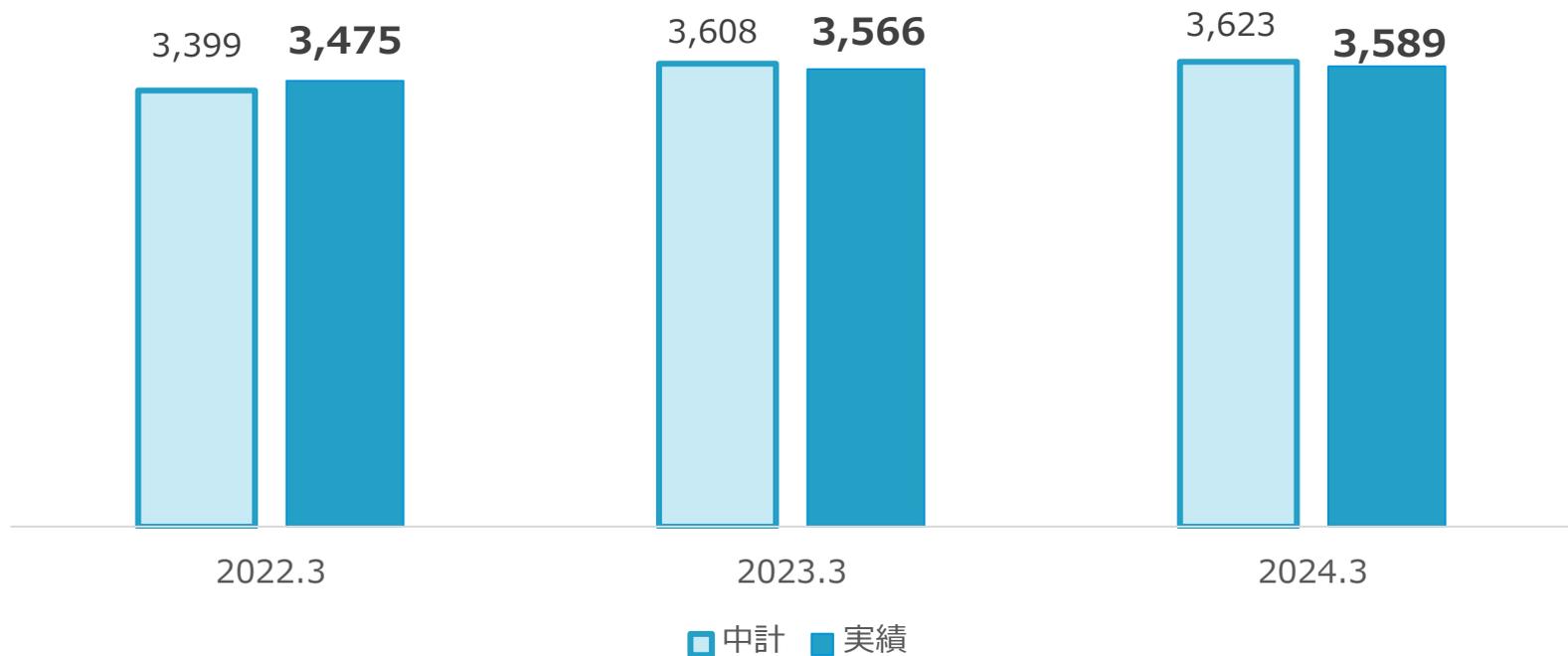


② 新中期経営計画

- 1 前中期経営計画の振り返り
- 2 外部環境の認識・見通し
- 3 新中期経営計画概要
- 4 株主還元方針

1. 前中期経営計画の振り返り

前中期経営目標の達成状況



課題

中期経営計画の目標値は、2022年3月期のみ達成したが、それ以降未達成
2022年3月期以降、每期増益となっているがさらなる成長が必要

事業の成長性が課題

1. 前中期経営計画の振り返り

中期目標 ('24年3月期)に対して

売上高：**過去最高 3,589百万円を計上するも、目標未達**
(機械事業の売上拡大、半導体用研磨パッドの伸長が寄与)

利益額：**基盤整備のための先行投資の影響等で 目標未達**
(新工場棟や製造DXへの投資と研磨部材の売上減少で減益)

単位：百万円

指標	2021/3期 実績	2022/3期 実績	2023/3期 実績	2024/3期 実績	2024/3期 中期目標
売上高	3,252	3,475	3,566	3,589	3,623
接着樹脂加工事業 売上高	2,678	2,918	2,950	2,924	3,044
特殊設計機械事業 売上高	573	556	615	664	579
経常利益 率	349 10.7%	380 10.9%	383 10.7%	345 9.6%	410 11.3%
ROE	4.2%	5.3%	4.7%	3.3%	5.0%

1. 前中期経営計画の振り返り

実施事項（成果）

今後の課題

ソリューション
ビジネスの推進

・製品情報HPリニューアル

・顧客の現場視点による
ソリューション力の再興

グローバル展開

・中国で新工場への移転完了
（'22年8月完）

・海外事業展開の加速

成長事業・
新規事業推進

・機械事業の売上拡大、販路開拓
・半導体研磨パットの売上開始

・開発案件の絞り込みと
リソースの重点投入

生産の合理化

・新工場棟の建替え
（'24年12月予定 従来の1.6倍）

・カスタマイズ品の
ものづくり変革

共感力の浸透

・管理職研修の実施
・職場の相互対話 仕組み化

・人的資本への投資拡充

サステナビリティ
への取り組み

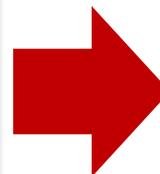
・ガバナンス体制の整備
（委員会、リスク管理の強化）

・環境/社会課題への対応

1. 前中期経営計画の振り返り

サステナビリティへの取り組み状況

主要指標(重要評価指標)		2024年3月期目標
生産性向上	各事業における生産性	① 向上率6%
環境(E)	電気使用量の削減 材料効率の向上	① 光熱費2%削減 ② 材料費比率1.5%削減
社会(S)	働きがい指標	① 有給取得率の向上 ② 労働時間の適正化 ③ 男性の育休取得 ④ 女性管理職率 2% ⑤ 外国人就労者の採用
ガバナンス(G)	重大な法令違反件数	① ハラスメントのない職場



2021年3月期と比較した 2024年3月期達成状況
① 8%向上
① 光熱費 +62.9% ② 材料費 -1.8%
① 57.4%→64.7%へ向上 ② 平均残業時間4.5時間から3.7時間に削減 ③ 0% ④ 候補者育成中 ⑤ 全体で9名
①研修の実施

2. 外部環境の認識・見通し

世界情勢

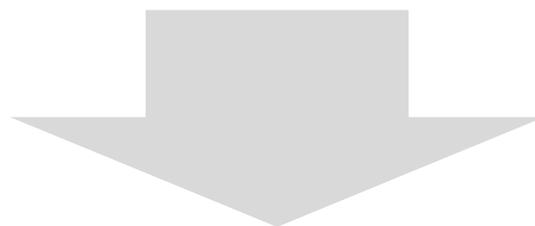
世界情勢は不透明な
局面へ

国内情勢

少子高齢化、
働き方改革法による
労働力の制限

環境問題

脱炭素社会へシフト
サステナビリティへの
重要性の高まり



- ・世界情勢の低迷により、当社グループのアジア業績下振れの懸念
- ・国内情勢では、労働力不足により人材確保が困難な予想
- ・環境問題では、VOC規制の強化による販路の減少

3.新中期経営計画〈基本方針〉

(2025年3月期～2027年3月期)

基本方針

当社は、2027年に創業70年を迎えるにあたり、「常に新しいサムシングを求め、現場視点でものづくりを発想し、チャレンジし続けることで進化していきます」とする経営理念に立ち返り、次世代に向かって新たな挑戦を始めまいります。そして、これからも常に現場の視点に立ち、職人集団としてのプライドをもって、目立たない所で”モノづくり”を支え続けます。

基本戦略

“ 将来投資、利益成長、資本効率 ” の統合的な成長ストーリー

3.新中期経営計画〈目標①〉

2025年3月期を底に その後は

売上高：ディスプレイ用研磨部材で客先の在庫調整 終了、半導体用研磨パッドの販路拡大 等により '27年3月期は3,800百万円 ('24年3月比 +5.8%)

利益額：将来への基盤投資 (開発投資・IT投資、人的資本投資)を継続推進しつつ、実施済みの投資効果(工程改善やDX導入)を回収し'23年3月期水準へ回復

単位：百万円

指標	2023/3期 実績	2024/3期 実績	2025/3期 目標	2026/3期 目標	2027/3期 目標
売上高	3,566	3,589	3,470	3,610	3,800
接着樹脂加工事業 売上高 (内、半導体研磨パッド)	2,950 (0)	2,924 (43)	2,870 (70)	3,010 (120)	3,200 (150)
特殊設計機械事業 売上高	615	664	600	600	600
営業利益 売上比率	368 10.3%	317 8.9%	260 7.5%	340 9.4%	390 10.3%
ROE	4.7%	3.3%	2.4%	3.8%	4.2%

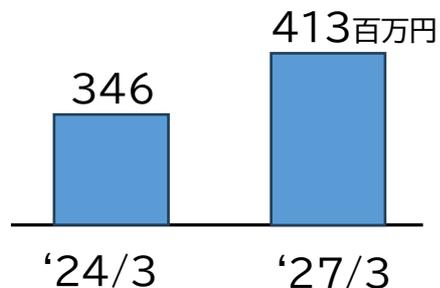
3.新中期経営計画<目標 前項以外>

最終年度（'27年3月期）目標

財務目標

経常利益

4.1億円



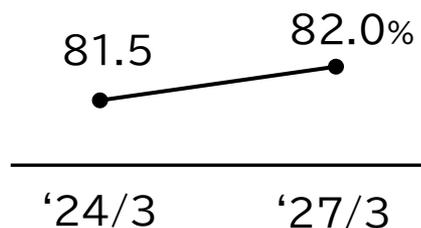
親株主に帰属する
当期純利益

2.4億円



自己資本比率

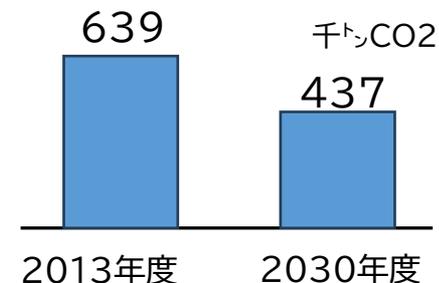
82.0%



非財務目標

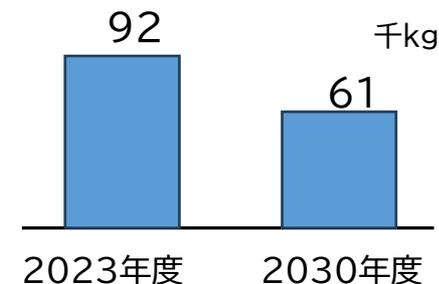
CO2排出量

▲32%



廃棄物重量

▲30%



有給取得日数

15日/人・年

残業時間

原則ゼロ

3. 中期経営計画〈課題・重点実施事項〉

今後の課題

主な重点実施事項

ソリューション
ビジネスの推進

- ・顧客の現場視点によるソリューション力の再興

- ・顧客ニーズの深耕とニッチ分野の発掘
- ・粗利額重視の営業戦略への転換

グローバル展開

- ・海外事業展開の加速

- ・アジア域内で最適 生産・供給体制構築
中国へ研磨部材、研磨パッド、紡績関連品 集約
タイは 労務費メリットを生かした主力輸出拠点

成長事業・
新規事業推進

- ・開発案件の絞り込みとリソースの重点投入

- ・次世代ウエハ用 研磨パッドの改良拡販
- ・脱VOC(水系接着剤 等)の実用化 他

生産の合理化

- ・カスタマイズ品のものづくり変革

- ・生産効率、物流効率、作業効率の向上
標準化、平準化、ロールストッカー(自動入出庫装置)、AGV(無人搬送機)の導入等

共感力の浸透

- ・人的資本への投資拡充

- ・採用、育成、福利厚生^の整備・強化
- ・健康経営の推進 (心身の健康増進、職場力向上)

サステナビリティ
への取り組み

- ・環境/社会課題への対応

- ・サステナブル経営の実践
CO2排出量削減、VOC排出量削減、廃棄物縮減
サステナブルベルト製品化(脱炭素素材+脱VOC接着剤)

3. 新中期経営計画〈重点項目〉

ソリューションビジネスの推進

〈当社の強み〉

素材選定技術

様々な素材の中から、その目標性能のみを有する最適な素材を選定します

接着技術

素材の目標性能を最大限生かし、欠点をおさえる接着方法を選定します

樹脂加工技術

様々な用途や使用環境にて、最大限性能を発揮するように樹脂加工します

ポ
バ
ー
ル
ス
ペ
シ
ャ
ル

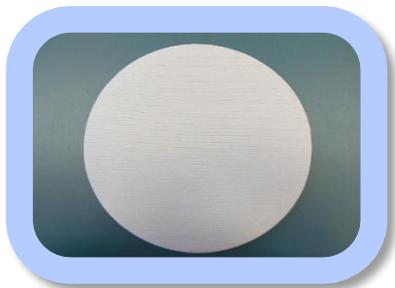
当社の強みであるソリューションビジネスを強力に推進

⇒ 顧客ニーズの深耕とニッチ分野の発掘

3. 新中期経営計画〈重点項目〉

成長事業・新規事業推進

〈次世代ウエハ用 研磨パットの改良拡販〉



研磨パットの販売がスタート

⇒ 顧客の要望により改良品を模索

〈脱VOCの実用化〉

中国内の脱VOCに適用した、脱炭素素材+脱VOC接着剤を組み合わせたサステナブルベルト製品化を目指す。

⇒ 新たな事業の開拓

3.新中期経営計画〈重点項目〉

生産の合理化

〈工場再構築〉

- ・ 2024年12月の竣工を目指し、生産・物流効率を追求した工場を建設中

延べ面積で従来の1.6倍の規模

〈DX関連〉

- ・ ロールストッカー（自動入出庫装置）、AGV（無人搬送機）を導入し、生産能力の拡張、物流効率の追求を強力に推進

⇒ 投資効果の回収し、さらなる基盤投資へ

4. 株主還元方針

株主に対する利益還元は経営の重点課題と認識しております

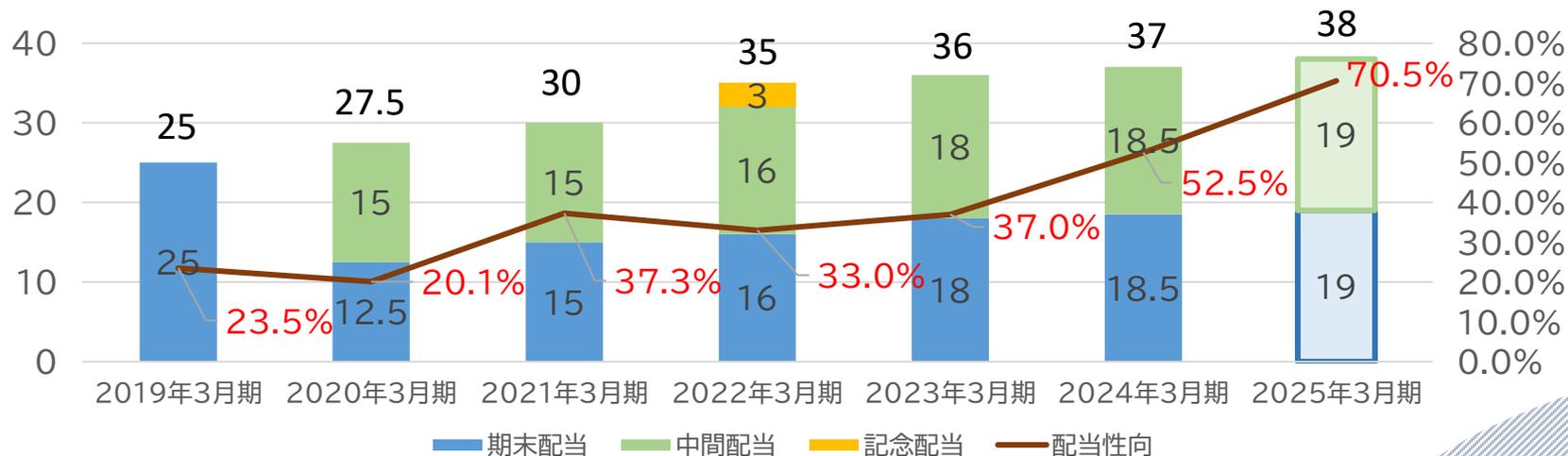
還元方針

配当政策につきましては、連結配当性向 30%を基本に、安定的な**増配の継続**を目標とします。加えて、**自己株式の取得**、**株主優待制度の維持拡充**も検討しつつ今後も利益成長と資本効率の両面を追求してまいります

内部留保

今後予想される経営環境の変化に対応すべく、お客様のニーズに応える開発・生産体制の強化、グローバルな事業戦略の遂行、事業領域の拡大に役立ててまいります

一株当たり配当金の推移



免責事項

・本資料は、株主・投資家などの皆さまに当社の経営情報、財務状況等の情報をご理解いただくことを目的としており、当社の株式の購入、売却など、投資を勧誘するものではありません。投資を行う際は、ご自身のご判断で行うようお願いいたします。また内容についていかなる表明・保証を行うものでもありません。

・本資料に掲載している情報のうち過去の事実を除き、現在入手可能な情報を踏まえた当社経営者の判断に基づくものです。従って、実際の業績は、種々の要素の変化により大きく異なる結果になりうることにご注意ください。

以上のことをご理解いただき、投資に関する決定をされる場合には、当社が発行する有価証券報告書などの資料をご覧いただくなどして、ご自身の判断で行われるようお願い致します。

- ・ I R についてのお問い合わせ先
ポータル興業株式会社 管理部 経営企画課
電話番号：052-411-1050
U R L : <https://www.poval.co.jp/>